

グリーンバンクサポータークラブ会報

第83号

2021年7月1日発行

会員数 55 名

磐田市敷地里山公園で見学交流会 感動の声多数！

6月10日、敷地里山公園で初の現地集合・現地解散の形で見学交流会が行われました。快晴に恵まれ、会員14名、会員の知人や友人10名、合計24名が参加してくださいました。たった3名で山を切り開き造った広い里山公園、この時期は3500本という様々な紫陽花が見事です。見どころをお聞きしたところ、主催の鈴木さんから『全部が見どころ』と。オリエンテーションもそこそこに鈴木さん自らのガイドで山の斜面一帯に咲く紫陽花を堪能しました。1時間ほど散策したあとは、鈴木さんと2012年の最初から一緒にやっておられる春田さんにお話を聞き（もう一人の新井さんは欠席）、そのあと、参加者全員から意見や感想を一人ずつ話して頂きました。（裏面へ）



オリエンテーション



見事な紫陽花のグラデーション



次々に花に誘われて登れたという感想も





春田さん 鈴木さん

“多くの人と付き合えるのが財産”

鈴木さんより『長野で知った九輪草をなんとか咲かせたいと思って始めました。花桃を植えて次に紫陽花。最初は山の玄関口だけでやっていたがどんどん山を切り開いてきました。紫陽花は挿し木で増やしますが長く切った方が成長が早いです。自分は大変な時に自然や花に助けられた。皆さんにも花を見て安らいで喜んでもらいたい。多くの人と付き合えるのが財産です。』



春田さんより『次郎柿も20名くらいの仲間と作っています。実は朝3時半～8時までには別の仕事もしています。その後、作業します。(ええっ～！と感嘆の声が上がりました。)山野草の料理ができます。今回は披露できませんでしたがぜひまた来てもらいたいです』と、お話がありました。鈴木さんからぜひ聞かせてほしいとのことで参加者からこんな意見もでました。『以前に来た時より紫陽花が目立たなくなってきたかなと思いました』『紫陽

花の名前がわかると良いですね。』また、感想は『こんなに広く斜面が多い場所を3人で。感動しました。』『登山道がしっかり出来ていて感動。ご苦労が偲ばれる』『斜面の紫陽花のグラデーションがすごい！』など多くの方が『感動！』の言葉を口にしていました。

全員の言葉を記録して鈴木さんたちに渡して来ました。無事、新しいスタイルの見学交流会を終えることが出来ほっとしています。(中村道代記)



たねダンゴ大作戦に参加しました

6月18日、吉田公園では初となったたねダンゴ大作戦に、急な呼び掛けでしたが18名もの大勢の参加有り難うございました。赤玉土小粒とケト土を滑らかにツヤが出るまで捏ねるのがポイントでした。同じ大きさに1人50個は楽しく童心に帰る時間でした。植え付けは、指示の通りにすると数が足りないことが分かり、流石に実践に強い会員の皆様が臨機応変に対応して予定していた全面に無事植え付けが終了しました。芽が出て繁るまでは、雑草との戦いですね、維持管理する方の苦勞も察しました。終わった後の冷たいお茶が美味しかったですね。私達の花は松葉ボタンでしたが、周囲はコスモスなど背の高い草花とのこと一面咲いたのを見たいですね。

(齋藤玉子記)

